

■川端竜子 日本画家。大作による会場芸術を掲げて大衆のための絵画を標榜し、帝国美術院・芸術院会員を辞退した。
かわばたりゆうし
内閣発足・・・1885＝ 和歌山市に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 4歳：

日清戦争始・1894＝ 9歳：
日清戦争終・1895＝10歳： 上京，

__白馬会研究所，太平洋画会研究所で洋画を学び，
__東京パック社，国民新聞社に入社して挿絵，漫画を担当。

日比谷公園・1903＝18歳：

日露戦争終・1905＝20歳：

韓国反日暴動1907＝22歳： __第1回文展，
アヲキ 創刊・1908＝23歳： __第2回文展に入選したが，

明治天皇没・1912＝27歳：

大正政変・・・1913＝28歳： __渡米。ボストン美術館で「平治物語絵巻」とピュビス・ド・シャパンヌの壁画に感銘を受け，
__帰国後は日本画に転じる。

21ヶ条要求・1915＝30歳： 平福百穂らと珊瑚会を組織。__第2回院展に「狐の径」が初入選，

民本主義・・・1916＝31歳： *__「靈泉由来」が樗牛賞で院友となり，

ロシア革命・1917＝32歳： __「神戦の巻」で同人に推されるが，

__しだいに院展内で異端的存在となって，
原敬首相暗殺1921＝36歳：
「印度更紗」，

治安維持法・1925＝40歳： 「佳人好在」など， __奇抜な構想と洋風描写をとり入れた画風で人気を集めるも，

「行者道」三部作のころより， __その大作主義が院の運営をめぐって同人との対立をきたし，
共産党事件・1928＝43歳： __美術院を脱退，

世界恐慌・・・1929＝44歳： *__「青竜社」を創立した。従来の床の間式日本画に対し大作による会場芸術を掲げ，大衆の気持ちを反映した
大衆のための「健剛なる」絵画を標榜，在野団体としての主張を鮮明にし，第1回青竜展に「鳴門」を発表，

海軍軍縮条約1930＝45歳：

満州事変・・・1931＝46歳： __朝日賞。

「魚紋」「草炎」「新樹の曲」等を経て，
「太平洋連作」「連作大陸策」等に見られるテーマ主義の創作活動を進展させた。

芥川直木賞始1935＝50歳： __帝国美術院会員に推されるが， 辞退。

日中戦争始・1937＝52歳： 「潮騒」。__帝国芸術院会員に推されるが， 辞退。

第二次大戦始1939＝54歳：

大政翼賛会・1940＝55歳： __満州国新京美術院長に就任。

日米開戦・・・1941＝56歳：

敗戦・・・1945＝60歳：

第2次大戦後は自由な世相を風刺した「河童」による連作や，また民俗的な主題をとらえた「瀬祭」「沼の饗宴」
を発表。

極東裁判決・1948＝63歳：

朝鮮戦争始・1950＝65歳： 四国遍路に赴き，西国・坂東三十三所巡礼の過程で墨絵淡彩のスケッチをのこした。

独立回復・・・1951＝66歳： 中尊寺のミイラ調査というニュースに取材した「夢」，

55年体制始・1955＝70歳： 第1回龍子のあゆみ展。

国連加盟・・・1956＝71歳： 「宮城の灯」，

なべ底不況・1957＝72歳：

インスタアン・1958＝73歳： 第2回龍子のあゆみ展。ベネチア・ビエンナーレに出品。

美智子妃・・・1959＝74歳： __文化勲章。

安保闘争・・・1960＝75歳：

全国総合計画1962＝77歳： 第3回龍子のあゆみ展。

TV宇宙中継始1963＝78歳： 東京都大田区南馬込に自ら設計した竜子記念館開館。

いざなぎ景気1966＝81歳： __没した。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，